

[HOME](#) > [対外広報活動](#) > [市民説明会のご案内](#) > 市民説明会を開催しました

市民説明会を開催しました

核融合科学研究所では、令和4年度の市民説明会「核融合研究の進展と大型ヘリカル装置（LHD）の研究成果」を、土岐市（9月2日(金)、3日(土)）、多治見市（9月8日(木)、11日(日)）及び瑞浪市（9月13日(火)）において開催しました。

説明会は、平成18年度から新型コロナウイルスの影響により中止した昨年度を除き毎年実施しています。16回目となる今年度の説明会は、土岐市2会場で66名、多治見市2会場で47名、瑞浪市1会場で18名の方（3市合計131名）にご参加をいただきました。

説明会では、吉田所長等の挨拶に続き、エネルギー・環境問題と核融合エネルギーの必要性、国際協力によってフランスで建設が進んでいるITERなど国内外の研究開発の状況、LHDの重水素実験の成果と安全管理、重水素実験終了後の今後の研究計画などについてご説明しました。

参加者の皆様からは、将来の核融合発電の安全性に関する質問のほか、「ヘリカルとトカマクの違いは？」、「核融合発電の実用化の時期は？」、「研究所の今後の計画の詳細はいつごろ分かるのか？」など、核融合研究や研究所に興味、関心を寄せる質問も多くいただきました。

核融合科学研究所は、今後も研究成果等についてご説明する機会を設けていくとともに、より一層の情報公開に努めてまいります。



セラトピア土岐（土岐市）



とうしん学びの丘"エール"（多治見市）



瑞浪市総合文化センター（瑞浪市）

令和4年度 核融合科学研究所市民説明会「核融合研究の進展と大型ヘリカル装置(LHD)の研究成果」参加者数等調

土岐市内

| 開催日時 | 会 場 | 参加者数 | 令和2年度 参加者数 | 備 考 |
|--------------------|---------------------|------|---------------|-----|
| 9/2(金) 19:00～20:30 | 下石公民館 (ジョイホール) | 27 | 18 | |
| 9/3(土) 14:00～15:30 | セラトピア土岐 (3階大会議室) | 39 | 36 | |
| 合計 | 2会場 | 66 | 54 | |

・ 主な広報：土岐市連合自治会理事会にチラシ全戸配布を依頼、土岐市及び公民館等にチラシ、ポスターの掲示等を依頼

多治見市内

| 開催日時 | 会 場 | 参加者数 | 令和2年度 参加者数 | 備 考 |
|---------------------|----------------------------|------|---------------|--|
| 9/8(木) 19:00～20:30 | 滝呂小学校 (体育館) | 17 | 28 | 2年度の参加者数は、TES集会所、滝呂区民会館、12丁目滝呂台公民館で開催の人数 |
| 9/11(日) 14:00～15:30 | とうしん学びの丘“エール” (講義棟：ホール) | 30 | 31 | 2年度の参加者数は、パロー文化ホールで開催の人数 |
| 合計 | 2会場 | 47 | 59 | 2年度は4会場で開催 |

・ 主な広報：多治見市区長会にチラシの回覧を依頼、多治見市及び公民館等にチラシ、ポスターの掲示等を依頼

瑞浪市内

| 開催日時 | 会 場 | 参加者数 | 令和2年度 参加者数 | 備 考 |
|---------------------|----------------------------|------|---------------|----------|
| 9/13(火) 19:00～20:30 | 瑞浪市総合文化センター (中央公民館3階講堂) | 18 | 24 | |
| 合計 | 1会場 | 18 | 24 | 例年1会場で開催 |

・ 主な広報：瑞浪市連合自治会にチラシの回覧を依頼、瑞浪市にチラシ、ポスターの掲示等を依頼

| | | | | |
|------|-----|-----|-----|------------|
| 三市合計 | 5会場 | 131 | 137 | 2年度は7会場で開催 |
|------|-----|-----|-----|------------|

※ 昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受けた岐阜県の緊急事態宣言延長により中止としたため、説明会で予定していた内容をQ&A形式でまとめ、ホームページに掲載した。

プロフィール

No Image

Author:株式会社東濃ニュース
岐阜県の東濃地方にある土岐市と瑞浪市のニュースを配信。
ホームページは[こちら](#)です！

カテゴリ

[土岐市 \(3610\)](#)
[瑞浪市 \(3996\)](#)
[動画&特集 \(77\)](#)
[企業&店舗 \(375\)](#)
[人物&団体 \(316\)](#)
[ギャラリー&展示 \(422\)](#)
[イベント&告知 \(867\)](#)
[広域&雑感など \(1073\)](#)
[未分類 \(0\)](#)

月別アーカイブ

- 2022/09 (62)
- 2022/08 (97)
- 2022/07 (93)
- 2022/06 (118)
- 2022/05 (95)
- 2022/04 (78)
- 2022/03 (127)
- 2022/02 (100)
- 2022/01 (104)
- 2021/12 (92)
- 2021/11 (95)
- 2021/10 (81)
- 2021/09 (105)
- 2021/08 (97)
- 2021/07 (71)
- 2021/06 (97)
- 2021/05 (82)
- 2021/04 (74)
- 2021/03 (101)
- 2021/02 (88)
- 2021/01 (91)
- 2020/12 (104)
- 2020/11 (92)
- 2020/10 (74)
- 2020/09 (85)
- 2020/08 (60)
- 2020/07 (61)
- 2020/06 (77)
- 2020/05 (66)
- 2020/04 (87)
- 2020/03 (66)
- 2020/02 (80)
- 2020/01 (64)
- 2019/12 (88)
- 2019/11 (75)
- 2019/10 (89)
- 2019/09 (86)
- 2019/08 (84)
- 2019/07 (70)
- 2019/06 (95)
- 2019/05 (78)
- 2019/04 (79)
- 2019/03 (99)
- 2019/02 (89)
- 2019/01 (77)
- 2018/12 (81)
- 2018/11 (87)
- 2018/10 (78)

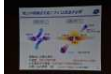
2022年09月03日 (01:18)

核融合科学研究所が令和4年度「市民説明会」を開始

核融合科学研究所
(土岐市下石町・吉田善章所長) は、
「令和4(2022)年度・市民説明会」を、
東濃西部3市で開く。



市民説明会は、
平成18(2006)年度から開いているが、
昨年度、令和3(2021)年度は、
新型コロナウイルス感染症に対する、
緊急事態宣言のため、すべて中止にした。
本年度、令和4(2022)年度は、
土岐市内で2会場、多治見市内で2会場、
瑞浪市内で1会場の計5会場で行う。



昨日、9月2日(金曜日)には、
土岐市下石町の下石公民館で、
本年度第1回目の市民説明会を開催。
地元住民ら27人が参加した。
「核融合研究の進展と大型ヘリカル装置
(LHD)の研究成果」と題して、
核融合の高畑一也教授が説明。
参加者からの質問には、
吉田善章所長も回答した。



核融合科学研究所では、
平成29(2017)年3月7日から、
同所の大型ヘリカル装置(LHD)で、
重水素カスを用いた実験「重水素実験」を開始。
「重水素実験」については、本年度、
令和4(2022)年度をもって、終了する。



令和4(2022)年度の市民説明会では、
①LHDの最新の研究成果。
②本年度のプラズマ実験の
目的とスケジュール。
③今後の研究計画。
などを示す。



市民説明会の開催日時については、
「[お知らせ記事](#)」を参照。
問い合わせは、核融合科学研究所
(TEL0572-58-2222)まで。

このページへ
トップを戻る

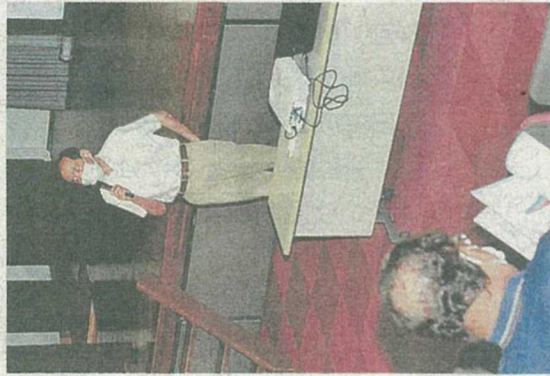
カテゴリ: 企業&店舗 | 記事のURL

[トップへ](#)

2022年(令和4年)9月4日 日曜日

東濃地域 10

土岐の核融研 市民説明会



市民を前に説明する吉田善喜所長＝土岐市下石町、下石公民館

「重水素実験が完了」

学術的研究は推進方針

核融合科学研究所(土岐市下石町)は2日、本年度市民説明会を同町の下石公民館を皮切りに始めた。本年度については国の大規模学術フロンティア促進事業を終えるのを踏まえ「重水素実験は成功裏に完了した」と総括。今後は大型く

リカル装置(LHD)を核融合研究の学術基盤として使い、学際的な研究を積極的に進める方針を説明した。

出席した27人を前に、吉田善喜所長があいさつし、広報担当の高畑一也教授が「核融合研究の進展と大型

ペリカル装置の研究結果」と題して説明。29日から行う最後の重水素実験は、人工知能(AI)を使ったプラズマ制御実験や、核融合炉のプラズマを模した物理実験をする予定だ。これまでの重水素実験は目標の1億2千万度を達成して評価されており、今後もLHDで放射線を生じないペリウムや水素を使った実験は続けていく予定だ。

質疑応答では、来年度以後の役割について問われ、吉田所長は「LHDは25年たった時点で達成値は既にトップではないが、起きている現象を予測する能力は圧倒的に世界トップ」と価値を述べた上で「医療に病理学が必要なように、核融合も開発研究ばかりでなく学術研究がなければ前に進まない。さらに、技術基盤を強くするため、天文や超伝導の技術といった他分野の研究者とつなぐのも核融合の役割。産業に関わるマイクロ波の焼成や水素を使う技術もあり、産学連携で還元したい」と述べた。

説明会は重水素実験などについて住民の理解を求め、昨年を除いて2006年から毎年開催。来年度からはイベント形式に変える方針も伝えられた。13日まで5会場で開催。

(箕浦由美子)

2022年(令和4年)9月15日(木曜日)

15

東濃総合

「乱流」研究進める

土岐の核融合科研

地元住民に説明会

核融合発電に向けた研究を進めている土岐市下石町

の核融合科学研究所が十三日、瑞浪市土岐町の市総合文化センターで市民向け説明会を開いた。

研究所の高畑一也教授が、核融合発電の仕組みや

大型ヘリカル装置(LHD)の概要などを解説。二十九日～十二月二日に研究所として最後の重水素実験を行い、プラズマが不規則に乱れる「乱流」などの研究を進めると説明した。吉田善章所長は「実用化に向けてプラストスパートだが、学術機関として引き続き安全で信頼できる技術に向けて研究を進めたい」と話した。

説明会は二年ぶりに開催。瑞浪市のほか、これまでに土岐、多治見市でもあり、計五会場に約百三十人が集まった。(真子弘之助)